

サービス担当者会議と(自立支援)協議会の 活用についてのまとめ 【演習】



本研修の内容・目的

サービス担当者会議や（自立支援）協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意識、ポイントについてグループワーク等による討議を通して、連携の在り方についてまとめを行う。



演習 I にあたって、ポイントの整理

できていること、できていないことの整理

基礎研修終了後から実践研修までの期間中のOJT
について振り返ります。

- 1) 関係機関との連携について
- 2) 相談支援専門員との連携について
- 3) 担当者会議の開催依頼(出席)
- 4) サビ管・児発管から見た地域課題への対応
(自立支援協議会への報告等)



その他

- 5) 自事業所の強み

演習 I の流れ

グループ発表【5分×7人】

事前課題で作成したものをグループで発表する。



全体発表【2分×5グループ】

グループ内で出た内容を発表し、全体共有する。

- グループ・・・関係機関との連携について
- グループ・・・相談支援専門員との連携について
- グループ・・・担当者会議の開催依頼(出席)
- グループ・・・サビ管・児発管から見た地域課題への対応
- グループ・・・自事業所の強み



演習Ⅱの流れ

(実践研修全体を振り返っての自己評価)

- ①個人ワーク:サビ児管の資格を得ることでの決意表明
自分はこんなサビ児管になりたい、ここが足りないから頑張りたい など

②グループ発表:あなたの決意表明をグループで発表しましょう。

【発表1人3分×7人】

③全体発表【2分×2グループ】

まとめ

あなたの事業所も地域の中の1つの大切な社会資源です。
自事業所だけで解決できないことは、抱え込まず、相談支援
専門員との共有、協議会の活用など、関係機関で連携でき
る体制を作っていきましょう。
(できることから始めてみましょう。)

